



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第75号

2010.4.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」の名前をつけています。

もくじ

お知らせ

- －写真集完成の記事紹介
- －“つぶやき”はじめました
- －『苅尾』の原稿を募集

活動報告

- －早春のトレッキング

観察会案内

- －自然再生勉強会
- －山焼き後の植物観察会
- －カスミサンショウウオの産卵調査

お知らせ

●写真集完成の記事紹介

広島県の「夢配達人プロジェクト事業」において作成された、雲月小学校の児童による写真集『雲月のたから』が完成したことが、記事となっていますので、ご紹介します。

【広島県知事コラム】(2010.3.5)

“夢の実現に取り組む子どもたちを応援します”

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1267766950620/index.html>

【中国新聞】(2010.3.6)

“雲月山の写真集を知事に贈る”

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201003060224.html>

●“つぶやき”はじめました

芸北の草原保全のキャラクター「はらっぱー」がつぶやきはじめました。草原だけじゃなく、西中国山地の自然に関する日常をつぶやきます。高原の自然館のホームページのトップページからご覧下さい。

【高原の自然館】

<http://shizenkan.info/>

●『苅尾』の原稿を募集しています

西中国山地自然史研究会の会報『苅尾』の原稿を募集しています。内容は西中国山地の自然や動植物に関する情報や、自然に関わる活動報告、自然賛などです。また、下記のテーマに沿ったものも募集しています。600～1600字程度にまとめて、ぜひ

ご投稿ください。写真を大歓迎します。あなたのみつけた小さな発見を、会員のみなさんにも伝えてください。

【テーマ】

里山・天然記念物・外来種・水辺の生態系
ふるりの自然と教育・八幡湿原

観 察 会 報 告

● 早春のトレッキング

開催日時:2010年3月6日(土) 10:00

講師:佐久間智子

暖かい2月の風が、雪をすっかり溶かしてしまいました。小雨模様ながら気温は低くなく、まさに春先のトレッキングとなりました。参加者は14人。講師の佐久間先生に案内されながら、自然館を出発しました。水口谷から流れてきた小川では、ネコヤナギの新芽が雨に濡れていました。雪があっても無くても、ネコヤナギはこの時期に芽を開きます。花が咲くまでにはもう少し時間がかかりますが、八幡高原で春を予感させる植物です。雪が無くなったワタデガハラでは、冬の間ハタネズミが餌を探した溝が見えます。点々と見えるモグラ塚は、春の訪れを待っていたモグラが「ようやく土を出せる」と喜んでる姿を想像させます。水口谷湿原の植物は、まだじっとしているようでしたが、雪解け水が多くながれていました。ミズガ埜に登っていくと、そこから霧ヶ谷湿原へと新しい散策道が続いています。カンボクとカラコギカエデのトンネルを抜けると、視界が開け、木道が伸びています。遠くには、アテツマンサクが1株、黄色い花を咲かせていました。川沿いには、もうフキノトウが出ていました。再生事業でコンクリートが撤去された水路には砂が貯まり、自然の河川のようになっていました。霧ヶ谷湿原の導水路に生き物たちの姿は見えませんが、暖くなれば、カエルの卵やタカハヤが見られる、楽しい木道になることでしょう。帰りに水口谷の山際を通るときに、僅かに雪が見られましたが、扇谷の上から見た苅尾にも、ほとんど雪がありませんでした。自然館に戻ると13時になろうとしていました。花はほとんどありませんでしたが、時間がアツという間に過ぎた、充実した観察会でした。[しらかわかつのぶ]



高原の自然館前から観察を開始。講師は佐久間先生。



ネコヤナギが開きはじめていた。



ワタデガハラにはたくさんの「モグラ塚」、ハタネズミが雪の下で餌を探したトンネルも、雪が溶けて溝になっていた。



水口谷湿原は、雪解けで水が豊富だった。



扇谷の上から千町原を望む。191 スキー場の雪も、ずいぶん少なくなった。



出来上がったばかりの、霧ヶ谷湿原の木道。



少し広い木道。車いすでも通れるようになっている。

【みなさんの印象に残った物】

「ヤドリギの種の粘りけについて何度か話を聞いていましたが想像以上でおどろきました」「はじめての道を通った事」「最初の木道歩き」「ハンノキの種が湿地に沢山落ちてた。育てば湿地がハンノキ林になるかと思うと想像してみる」「芽吹き of 八幡の春が待ち遠しい」「再生の湿原地」「自分の知らない植物が春はまだかと春をまつ様子がわかった」「湿原の木道を歩けたこと」「マンサクの花、ヤドリギのこと」「霧ヶ谷の木道を観察会で最初に歩いて良かったです。」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「雪がある時とない時とでまたちがった印象をうけました」「楽しかったです」「雨も上がり気持ちよく歩けました」「雨も降らずにおわってよかったが、道具類を忘れてきたのが残念」「まんサクの花が春の使者のようだ」「とても楽しかった。久しぶり。」「また、次の時は鳥とか違った植物をみたい」「寒さもなく、とても楽しい一日でした。手のしわの話はおもしろかった」「春はまだまだと思っていたけれど、皆様と歩いていると、春がすぐそこまで来ていることが感じる事ができ嬉しかったです。」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 自然再生勉強会

開催日時：2010年4月24日(土) 9:30
集合場所：高原の自然館
講師：岩見潤治・上野吉雄・暮町昌保・斎藤隆登・佐久間智子・白川勝信・内藤順一・和田秀次
準備：基本セット
定員数：30名
参加費：一般=300円
賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

広島県が2007年から行ってきた八幡湿原自然再生事業の工事が終了しました。この湿原には霧ヶ谷湿原という名前がつけられています。遊歩道も設置され、自然観察もできるようになりました。完成を記念し、自然再生事業のこと・これからの霧ヶ谷湿原のこと・湿原のいきものことなどを勉強する観察会を行います。新しい八幡のホットスポットで春を始めませんか？



● 山焼き後の植物観察会

開催日時：2010年4月25日(日) 9:30
集合場所：雲月山駐車場
講師：佐久間智子・和田秀次
準備：基本セット・弁当
定員数：30名
参加費：一般=300円
賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

山焼きをした後の雲月山に登ります。今回火が入ったところ、以前火入れされたところ、火入れがされていないところ・・・と見比べてみると様々な違いがあります。講師の方からより詳しいお話を聞いたり、植物を観察しながらゆっくり登ります。まだ寒い時期ですので、防寒をしっかりとお願いします。

● カスミサンショウウオの産卵調査

開催日時：2010年4月29日(木) 9:30
集合場所：高原の自然館
講師：内藤順一
準備：作業セット
定員数：30名
参加費：無料

カスミサンショウウオをはじめ、両生類の産卵状況の調査です。去年に引き続き、自然再生事業地である霧ヶ谷湿原の水辺を歩き、成体や産卵の様子を確認します。初めての方でも楽しめる内容です。長靴でお越し下さい。

通勤途中に見る景色が変わり始めました。マンサクが咲き、カラマツの芽も少しずつふくらみ、フキノトウもあちこちで見かけます。いのちが動き出したなあと毎日わくわくします。とはいえ、家の中ではまだストーブやこたつが必要ですが・・・新しいシーズンを元気に過ごしたいとはりきっているこの頃です。(この) +

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館 (こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/>
staff@shizenkan.info